

令和7年度(2025年度) 科目表 京都大学大学院医学研究科履修証明プログラム
「発達症への介入による国民的健康課題の解決」

科目区分 (科目内容)	科目概要	講座別時間数	履修形態別時間数		開講年次別時間数		授業科目	実施形態	講師氏名
			講義(時間)	参加・体験型授業(時間)	1年次	2年次			
ASD概論 (社会のなかでASDをめぐる諸問題)	我が国における社会問題の背景にASDが大きく関与していることを理解するためにライフステージに沿って実際に学ぶ。	9	3		3		発達症総論	対面講義	義村さや香
			2		2		母子精神保健	対面講義	吉田敬子
			2		2		母性看護・助産学と精神科看護学	対面講義	未定 須賀原教子
			2		2		就労におけるASDの課題	対面講義	中野育子
ASD臨床基礎論 (ASDを理解するための基礎知識)	ASDの人がライフステージで直面する諸課題に対して適切に対応し支援するために必要なASDの医学的知識と精神生理を理解する。	13	3		3		ASD概論 (概念、診断、臨床的特徴)	e-Learning	義村さや香 十一元三
			1		1		ASDの精神生理とエビデンス	対面講義	魚野翔太
			3		3		ASDと睡眠	e-Learning	若村智子 村上純一
			3		3		ASDとてんかん	e-Learning	深尾憲二朗 杉山修
			3		3		精神症状と精神疾患	e-Learning	谷向仁 上床輝久
ASDのライフステージ介入技法 (ライフステージにおけるASDの実際)	ASDの人がライフステージを通じて起る問題に対してオールラウンダーとして応用の効く基礎技能のうえに、高度な専門性を要する技能を身に着けるための介入技法の実際を学ぶ。	15	3		3		ASD臨床論1 (幼児期、学童期)	対面講義	本田秀夫
			3		3		ASD臨床論2 (青年期、大学生)	対面講義	山田晶子 上床輝久
			3		3		ASD臨床論3 (成人期)	対面講義	義村さや香
			3		3		ASDと併存症・二次障害	e-Learning	義村さや香 十一元三
			3		3		ASDと司法的問題 (少年事件、刑事事件)	対面講義	義村さや香
ASDの医学的介入 (ライフステージにおけるASDの課題と医療的介入の実際)	ASDの生物学的背景および、精神生理と関連させながら、精神医学、リハビリテーション、臨床心理学といった複合領域における基礎知識と医療的介入の実際について理解する。ASDの精神生理に関する最近の医学的研究の動向も学ぶ。	17	3		3		精神科作業療法	e-Learning	稲富宏之
			2.5		2.5		ASDと発達リハビリテーション	対面講義	華野祐介
			2.5		2.5		音楽療法	対面講義	樽谷由香
			3		3		ASDと精神科リハビリテーション	対面	服部律子
			3		3		精神科薬物療法	e-Learning	岡田俊 十一元三
ASDのソーシャルワーク (ライフステージにおけるASDの課題と社会的介入と適応の実際)	ASDのある人々をライフステージで社会的介入していくときにキーパーソンとなる保護者、教育関係者、事業場内スタッフ、司法関係者といった支援者とのかわり方や協力のしかたの実際を学ぶ。	20	7			7	発達症介入論1 (医療：うつ、社交不安、依存、トラウマなど)	対面	中山秀紀 嶋濱盛三 天野五記 吉川徹
			3		3		発達症介入論2 (学校保健：不登校、いじめ、自殺企図など)	対面	生天目聖子 山田晶子
			2		2		発達症介入論3 (社会生活：ひきこもり、就労支援、子育て支援など)	対面	山本彩
			4		4		発達症介入論4 (司法領域：少年事件、刑事事件)	対面	熊上崇 義村さや香
			4		4		ASDとアート	対面	松井崇朗
ASDの実践のための臨床実習 (ASDの人への専門的対応と支援のための参加・体験型実習)	ASDの診断や評価データの解釈から支援と指導に至る過程を経験し、その実践的な専門的対応力を臨床実習によって高めることにある。	26		3	3		精神科リハビリテーション実習	対面	服部律子
				3	3		発達リハビリテーション実習	対面	加藤寿宏
				8	8		幼稚園・保育園見学／ケース分析実習	対面	堀田千絵
				3	3	3	ケース・インタビュー実習	対面	義村さや香
				3	3		認知機能評価実習	対面	魚野翔太 義村さや香
				3	3		心理検査実習	対面	生天目聖子
ASD課題解決のための実践学 (ASDの課題を学術的に解決するための実務能力育成)	ASDの診断と評価の基礎となる医学的知識と特徴的な精神生理を理解し、ASDの人がライフステージで直面する諸課題に対して適切に対応し支援できるとともに、メンタルヘルス問題に関連する医学、保健学、心理・社会学、リハビリテーション科学などの複合領域の知識と技術を用いて学術的視点で実務として問題解決できることを目指す。	20	8		8		ASD臨床研究方法論	対面	魚野翔太 大塚貞男 藤原広臨
			12			12	事例分析論文 (論文作成指導、面接、口頭試問あり)	対面	義村さや香 山田晶子
総計		120	94	26	68	52			